
Royal
Milk Doll
ADULT ONLY

薔薇の首輪つなげて　銀の鎖くわえて
今宵もひとり果てる　あなたが憎らしい
跪いてお舐めよ　苦い愛の雫を
天使に施す青いドレサージュ



Royal Milk Doll


んん・・・
なにか・・・
におうわ・・・
プーン
・・・これはっ！
いったいここは
どこなの？
びくん
びくーん



どうやら眠っている間に どこか得体の知れない フィールドに迷い込んで しまったようだわ・・・・・
とにかく出口を 探さなければ いけないのだわ・・・
ゴゴゴゴゴゴ
ドスッ
しかし卑猥な ペニスね・・・ そこらじゅうにあるわ・・・
どき
このペニスのような物の 大群はいったい なんなのかしら・・・ ひどい・・・におい
どき
そこをおどきなさい！
ビシュッ
びゅるっ


ぴゅっ
きゃあああぁっ!!
ビュッ
どびゅっ
ピュッ
うう、まさかヒンタ一発でこんな反応をするだなんて・・・
・・・下劣なオスのにおい
ビュッ
ぷる
ビュッ
ほかのペニスも反応しているのだわ
すごい量・・・それに・・・・
ビュッ



これは射精の快感・・・
私にも伝わっている・・・？
びゅくっ
びゅるるっ
ぴゅるっ
ああ、すごい・・・
精液が私にかかるたび
感じている・・・
こんなにいっぱい・・・
なんだか頭もボーっとして・・・


ああ、なんて大きい
ヘニスなのかしら
それにこんなに
硬く反り返って・・・
ダメ、なにを考えているの？
私はこんなこと・・・
早く脱出しなくてはいけないのに
どくん
どくん
あはあっ！
気持ちいい！
こんなのダメなのに！
ビュ
ビュッ


ガク
ガク
あっんっ!!
ガク
はっ
はっ
はっ
ダメッもうっ
はっ
んはぁ
もうっんっ
だめへぇえぇっ!!
どくん
どくん
ビクッ


お前は水銀燈!!!?
フフフ
ブザマな格好ねぇ真紅ぅ・・・
腰も抜けちゃってそのぉ
なさけなぁい

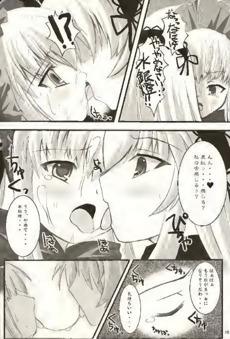

あなたね！私をこんなところに陥れたのは！
あらぁ 陥れたなんて人聞きの悪いこといわないで真紅・・・
ここは「Hのフィールド」・・・あなたのミーディアムの欲望が形になった世界よ ミーディアムの望みはあなたの望み・・・
愛されてるのねぇ真紅・・・うらやましいわぁ 私もこんなにあなたのこと愛してるのにぃ・・・


ぜーんぶ出しちゃえば このフィールドから 出られるかもしれないわよぉ
溜まってるものを だして楽になりなさい
ぶる
ぶる
どくん
ほらぁ！ こうやってお口でしてあげれば すぐにでちゃうんだからぁ 見てなさい真紅っ・・・
どき
どき
ああ、そんなこと・・・
ピクン


ンフッ♥
ぱくん
ダメ・・・
体がしびれて・・・
うまく動かないっ
ブルブル
ちゃんとみてるぅ？
真紅ぅ・・・
ぷはぁ
んっんっ♥
ちゅる
ちゅる
ちゅる
ちゅる
やめなさい
水銀燈!!
アハハ、おはカム真紅ぅ・・・
感じちゃってるのね♥
もうすぐ出ちゃうわよぉ
あなたにぶっかけてあげる



うふふ
そーれぇ！
綺麗よ真紅・・・♥
ザーメンまみれのあなた
とってもステキ・・・
す・・・水銀燈・・・？


なっ なにを!?
やっやめなさい…水銀燈!!
!?
んん・・・♥ 真紅っ・・・感じる? 私の舌感じるぅ?
ちゅくっ
ぴちゃ
うう、やめて・・・・ 水銀燈・・・
はぁ
はぁ
はぁはぁ もう頭が真っ白に なりそうだわ・・・
くちゅ
くちゅ
くちゅ
気持ちいい・・・


どくん
どくん
さぁ みんなのことも気持ちよくさせてあげてね♥ 真紅ぅ・・・
ぱ
みんな待ってるわよ♥
どくん
くぱぁ
すごい・・・
すてきよ♥ 真紅!!



んっんふっ
ちゅぱっ
ちゅぱっ
ちゅぱっ
ピクン
んんっ
みんな私に精液をかけてちょうだい・・・
ピクッ
はあっ
ちゅる
はあっ
臭くて白いのいっぱいいっぱいかけてちょうだい
ぴゅっぴゅっ
ぴゅっ
ふぁはあああん
あったかいもっといっぱいかけてもっといっぱい・・・


私は・・・
私はほこり高い・・・
ローゼンメイデンの
第五ドール・・・
そして・・・
しあわせなあなたの
お人形・・・


ウフフフ♥
ステキ…だわぁ真紅・・・
でもまだここから帰さないわよ
たっぷりいじめてあげる・・・
あなたがジャンクになるまで・・・♥
END



■あとがき

●こんにちは
いかがでしたでしょうか。
なんだか、シリアスなのか、ギャグなのかよくわからない
漫画になってしまいました。

サディスティックなアニメだったので、どちらかを元ネタに
するというのが間違っていたのかもしれません。
真紅のキャラがいまいちつかめなくて、どうにも難しかったです。
あと人形の職人師かとの絡みは避けようと思ったから、
銀ばかりの漫画になってしまいました。

ローゼンメイデンのアニメ、またやって欲しいですね。
水銀燈がいないからもう次はないのかな。やって欲しい。

●最後に、この本を手にとってくださって本当にありがとうございました。
また機会があったらローゼン本を作りたいなと思います。

2005年1月　しんしん



■収録
「Royal Milk Doll」
発行　露会
2005/03/21
無断転載禁止